

三角表示板



高速道路上でやむなく駐停車する場合には、三角表示板の設置が義務付けられています。

設置を怠ると「故障車両表示義務違反」なり、点数は1点、反則金は6千円が課せられます。

2,700円(税込)

発煙筒及び緊急脱出用ガラスピック



非力な女性・シニアドライバーはぜひ備えを!

- 簡単に側面ガラスが割れます。
- 従来の発煙筒設置場所に設置でき、取付場所に困りません。

発煙筒(スーパーハイフレイヤー5)+
緊急脱出用ガラスピック

※スーパーハイフレイヤー5に簡単に装着できる
緊急脱出用ガラスピック単品のみもございます。

1,652円(税込)

レスキューマン3(ハンマー&カッター)



トヨタ純正・ガラス用ハンマーと
シートベルト用カッターの一体型!

緊急脱出用具として、また
第三者の救出用具として
備えておきたいアイテム。

2,484円(税込)

ブースターケーブル

ライトの消し忘れなどによる、バッテリー上がり時に活躍!



思わぬバッテリー上がりに備えて、愛車の必需品。
危険な接触(スパーク)を防ぐ絶縁カバークリップ
を採用しています。

1,213円(税込・工賃込)〜



万が一の時に、 慌てないために

Q クルマを運転中に 地震が発生したら?

A もし、クルマを運転中に大地震が発生したときは、急ハンドル、急ブレーキを避け、できるだけ安全な方法で、道路の左側にクルマを停止させます。停止後は、揺れがおさまるまで車外には出ず、ラジオ等で地震情報や交通情報を聞き、その情報や周囲の状況に応じて行動してください。クルマを置いて避難する場合は、できるだけ道路外の場所に移動しておくのが理想ですが、やむを得ず道路上に置いて避難する場合は、

- ① 道路の左側に寄せて駐車し、
 - ② エンジン止め、
 - ③ サイドブレーキをかけて、
 - ④ キーをつけたまま、
 - ⑤ 窓を閉めた状態で、
 - ⑥ ドアのロックをせずに避難します。
- ドアのロックをせず、キーを付けたままにしておくのは、緊急車両や救援車両の通行の妨げになった場合に、すみやかに移動させる必要があるからです。

Q もしバッテリーが 上がってしまったら?

A 電気を供給してくれる救援車(トラックは電圧が違い24Vと高圧であるため使用不可)を用意します。ボンネットを開けて隣りに止め、エンジンを停止させてからブースターケーブルをつなげます。一番重要な端子をつなぐ手順ですが、

- ① 上がったクルマのプラス(+)
- ② 救援車のプラス(+)
- ③ 救援車のマイナス(-)
- ④ 上がったクルマのマイナス(-)

- (端子ではなくエンジンの金属部分など)の順でつなげます。
- 確実につながったことが確認できたら、救援車のエンジンをかけてアクセルを踏んで回転を少し高く保ちます。
- つぎにバッテリーの上がったクルマのスターターを回しエンジン始動します。その後、ケーブルをつないだ時とは逆の順番で取り外します。

(JAF ホームページより)